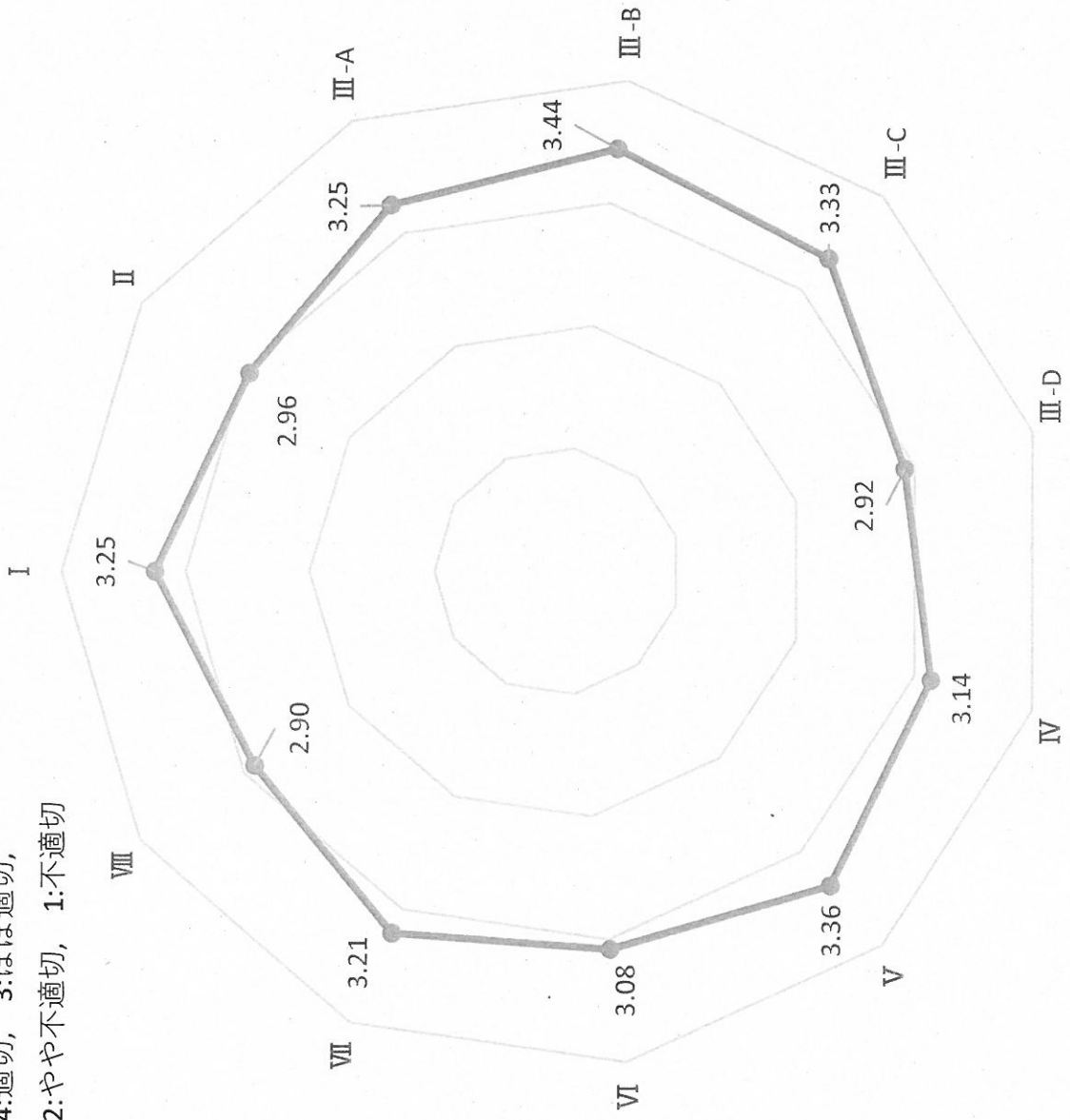


# 自己点検アンケート集計結果

4:適切, 3:ほぼ適切,  
2:やや不適切, 1:不適切



自己点検・自己評価資料 (評価内訳 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切)

大項目	評価項目	評価項目毎自己評価平均	自己点検・自己評価説明	大項目総合評価平均	学校関係者評価内容	学校関係者評価後の対応等
I 教育理念・教育目的	1 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。	3.25	当校の教育理念である「生命の安全と尊厳を基盤とし、思いやりのある感性豊かな人間性を育み、主体的に学ぶとともに深く思考する態度を養い、看護の専門職として社会に貢献できる人材を育成する」については、教育目的及び教育目標とともに、学校要覧に掲載し、学生・実習先病院等に配布し、ホームページで公開している。「ホームページにもう少し理念などが分かりやすく載っている」と良いとの意見があったが、概ね適切との評価とした。	3.25		
	2 教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3.25				
II 学校運営	1 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3.25	<p>当校では、上記教育理念に基づき、運営方針（組織の使命「多様化している看護ニーズに即応した看護教育の充実を図り、実践能力の高い看護師を養成するとともに、優秀な人材を確保するため、学生募集の強化や学習環境整備の向上に努めていく。」）及び教育計画が策定されている。</p> <p>1及び2については、「毎年の方針が決定されても、外部に示されていない」、「計画・実施・評価が機能していたか」など課題が指摘されたが概ね適切とした。</p> <p>3及び4については、「学生の学習状況を保護者会のほか、ホームページでもっと情報を流すべき」、「ホームページの情報が学生や受験生が求める情報であるか」、「授業アンケート、テストの発送、レポートの回収などもっとシステムで効率化すべき」など、改善の余地を残している。よって、II全体としては、低い評価とした。</p>	2.96		
	2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.25				
	3 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	2.75				
	4 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2.58				
III 教育活動	A (目標の設定等)	3.25	<p>国の指定規則、指導ガイドラインを前提に、教育理念に基づき、教育課程の編成、各科目のねらい授業内容・実習の内容・カリキュラム体系の設定を実施した。</p> <p>3.33 成績評価は、学則、学校細則、試験実施要領などで明示されている。</p>	3.24		
	1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3.33				

自己点検・自己評価資料 (評価内訳 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切)

大項目	評価項目	評価項目毎 自己評価平均	自己点検・自己評価説明	大項目総 合評価平均	学校関係者評価内容	学校関係者評価後の対応等
2	教育理念、育成人材像を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.17	看護師国家試験に向けた指導体制やカリキュラムが構築されている。			
	B (教育方法・評価等)	3.44	看護職員である県職員の中から確保に努めているが、専任教員資格を有する職員が限定され、本校に異動後に専任教員養成講習会を受講させることが多く、教員体制の課題となっている。			
1	1 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.33	全体的に、適切との評価としたが、そのうちDの教職員については、その確保、資質向上などで課題が残っており、低い評価とした。			
	2 関連分野における実践的な職業教育(実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	3.42				
3	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3.58				
	C (資格試験)	3.33				
1	1 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.33				
	D (教職員)	2.92				
1	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3.00				
	2 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	2.83				

自己点検・自己評価資料 (評価内訳 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切)

大項目	評価項目	評価項目毎自己評価平均	自己点検・自己評価説明	大項目総合評価平均	学校関係者評価内容	学校関係者評価後の対応等
IV学修成果	1 就職率の向上が図られているか。	3.50	全体的には、概ね適切な評価とした。 令和元年度卒業生のうち就職希望者33名全員が希望する就職先の内定を得た。 資格取得率は、概ね90%以上で推移している。	3.14		
	2 資格取得率の向上が図られているか。	3.08	3については、低い評価となった。退学する学生には、個別の状況があり、それぞれに合わせた指導をしている。自分の進みたい別の進路があれば、関係者とよく話し合っって結論を出すこともやむを得ないことから、退学率の推移で一律に状況を判断できないところもある。			
	3 退学率の低減が図られているか。	2.83				
V学生支援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3.50	全体的には、概ね適切な評価とした。 学生との就職個別相談、キャリアコーディネータによる就職セミナーなど実施し支援している。	3.36		
	2 学生相談に関する体制は整備されているか。	3.50	生活・学習上の悩み事については、教員との面談の他、令和元年度から月2回程度のペースでスクールカウンセラーによる面談の機会を設定している。			
	3 保護者と適切に連携しているか。	3.08	保護者との連携については、年1回開催の保護者会が重要な機会となっている。しかし、出席者が一部の学生に止まり、日頃の成績や生活に関心が行かない保護者もいることから、可能な限り情報の共有を図り支援協力をお願いすることも必要となっている。			
VI教育環境	1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	2.83	設置基準を満たしているものの、現在の建物施設の建設から30年経っており、多くの箇所で老朽化、劣化が進んでいる。また、ICTの活用が可能な設備の整備も求められており、計画的な設備の修繕・更新が求められている。	3.08		
	2 学内外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか。	3.33				

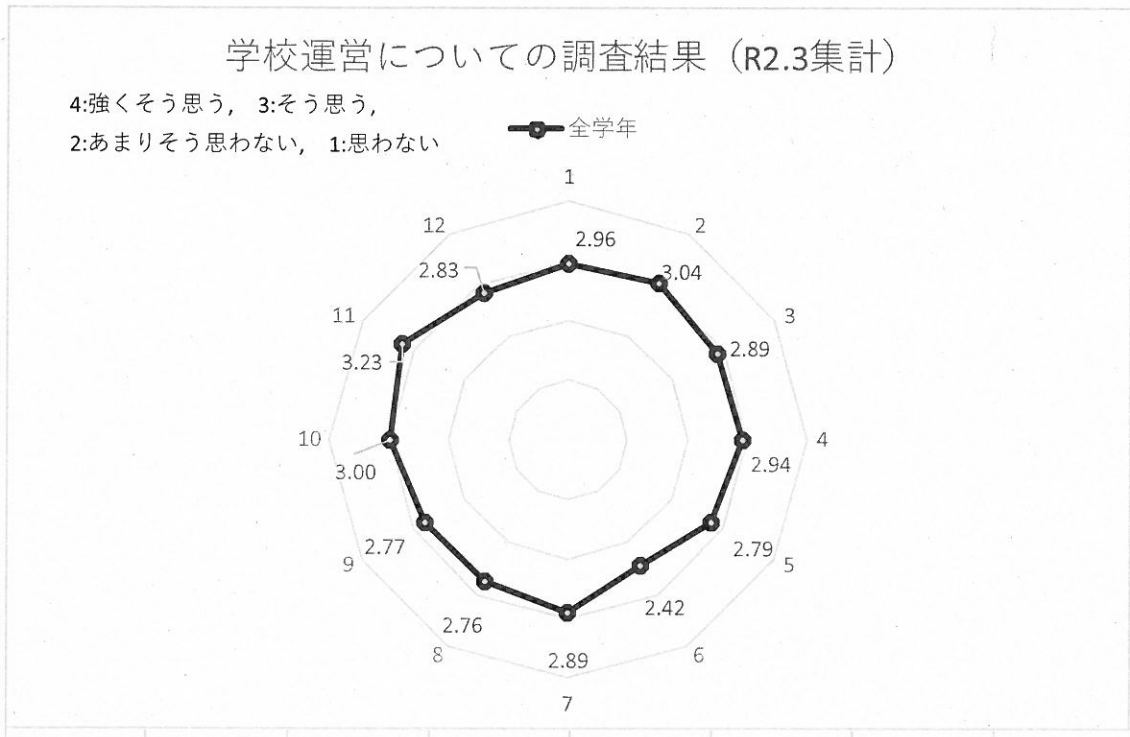
自己点検・自己評価資料 (評価内訳 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切)

大項目	評価項目	評価項目毎 自己評価平 均	自己点検・自己評価説明	大項目総 合評価平 均	学校関係者評価内容	学校関係者評価後の対応等
Ⅶ 学生募集と 受入	1 准看護養成所等接続する機関に対 する情報提供等の取組が行われて いるか。	3.08	県内准看護学校には、入学案内や募集要項を郵送・持参するな ど、PRに努めている。東北6県の関係校にも郵送して県外からの 入学生も募集している。 夏休中に行うオープンスクールやホームページで入学情報を配 布・公開している。	3.21		
	2 学生募集活動において、資格取 得・就職状況等の情報は正確に伝 えられているか。	3.33	全体的には、概ね適切との評価とした。今後は更に学生や受験生 が求める情報について、可能な限り対応できるよう検討していく 必要がある。			
Ⅷ 法令の遵守	1 法令、専修学校設置基準等の遵守 と適正な運営がなされているか。	3.50	これまで、自己評価が不十分で公開してこなかったことから、全 体として低い評価とした。令和2年6月までに令和元年度の取組を 評価・公開して、今後の学校運営に適切に反映させていく。	2.90		
	2 個人情報に関し、その保護のため の対策がとられているか。	3.50				
	3 自己評価の実施と問題点の改善を 行っているか。	2.58				
	4 自己評価結果を公開しているか。	2.00				

## 学校運営についての調査(学生)

令和2年3月17日  
宮城県高等看護学校

別紙調査書により本校在籍の学生にアンケート調査を実施したもの。  
在籍する学生75人中、1年生36人及び2年生35人から回答を得たもの。  
各質問項目ごとに、「強くそう思う」は4点、「そう思う」は3点、「あまりそう思わない」は2点、「思わない」は1点とし、人数で平均を取った。  
調査結果については、下図のとおりとなった。



12の評価項目のうち、最も点数の高かった項目は、3.23点の11番「証明書の交付期日は明らかにされ、期日までに発行されている」だった。2番目に点数の高かった項目は、3.04点の2番「職員は、担当者がいないときにも簡単な相談や問合せには対応している」だった。

12の評価項目のうち、最も点数の低かった項目は、2.42点の6番「事務室・教務室は、入りやすいレイアウトや雰囲気である」だった。2番目に低かった項目は、2.76点の8番「施設・設備の安全配慮は十分している」だった。

12の評価項目のうち、点数が3点以上の項目は、2番、10番、11番の3項目に止まり、残る9項目は2点以上3点未満となった。

個別の要望では、入学金や授業料以外の入学後の金銭負担についての情報が分かりにくいこと、施設の要望（トイレの洋式化等の要望、校内施設の老朽化や不具合への不満）などがあった。

